



～地域とともにある学校をめざして～

鯿コミ

R4 CS通信No.16 R4.12.13



(コミュニティ・スクール通信) 文責 社会教育推進 DC 藤田昭彦

ミニ学習発表会(西海小学校)・食育(舞戸小学校)・ふるさと学習発表会(鯿ヶ沢中学校)

西海小学校では、12月2日(金)、鯿ヶ沢町被災復興応援企画として、保護者だけでなく、地域の方も招待して「発表参観日」を実施しました。

学級ごとに45分間のプログラムを編成し、日ごろの学習の成果を発表しました。

2・3年生の複式学級では、「練習のせいかをしっかりと出して、120点のすがたを家の人にみせよう。」というめあてを立て、3年生が、長谷川自然牧場で学んだことをもとにクイズを作成して発表しました。おいしいものをたくさん食べさせているからおいしいお肉ができると答えた子がいて、みんなが納得できる答えとなりました。

2年生は、3年生の発表の後、劇「きつねのお客様」やピアノ「小ぎつね」、豪華な衣装の「きつねダンス」と次々に「きつね」を披露しました。

実際に訪れた地域住民は数名でしたが、子どもたちのがんばりに大きな拍手を送っていました。

また、参観に訪れた保護者の皆さんは、終始笑顔で、子どもたちのがんばりを見つめていました。



11月11日(金)舞戸小学校第5学年で、栄養教諭畠山日菜子先生が食育指導を行いました。

この日の学習は、五大栄養素の種類と働きを知り、健康な体をつくろうという学習でした。

最初に五大栄養素の種類と働き、食材を分類し、バランスよく食べることが大切であることを学びました。

次に、昨日の給食に使われていた食材を分類し、これからどのようなことに気を付けながら食事

をしていきたいかをまとめました。

子どもたちは、畠山先生の問いかけに元気に反応し、最後まで集中して学習していました。



鯿ヶ沢中学校第3学年では、12月7日(水)、「鯿ヶ沢フェニックス計画」と題して、ふるさと学習発表会を行いました。この発表会は、本町エリアの活気を取り戻すために、どのような施設を作ればよいかを生徒が考え発表するものです。

生徒からは、「海に見える結婚式場」「カフェ」「漁港近くの寿司屋・食堂」「なんでもできる広い公園」等たくさんのアイデアが出されました。

また、「鯿ヶ沢町のことを深く考えることができて楽しかった」等の感想がありました。

講師である弘前大学の土井先生からは、考えたアイデアを人をお願いするだけでなく、みんなで考え続けてほしいとアドバイスがありました。

平田町長からは、みなさんのアイデアを活用していきたい、鯿ヶ沢町のことをもっと好きになってほしいとお話がありました。

